

# 議会だより

NO.255



## 第7回 町議会臨時会

第7回臨時会は、11月29日に開会し、条例や各会計補正予算について審議・可決し閉会しました。

### 条例



議会議員、特別職及び職員の報酬等について人事院勧告に準じ、条例を改正するものです。

議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定

小清水町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定

#### ▼期末手当

支給月数を0.1ヶ月分引き上げ、現行4.3ヶ月分から4.4ヶ月分に改正

(公布の日施行)

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

#### ▼期末勤勉手当の改正

#### 【一般職員】

支給月数を0.1ヶ月分引き上げ、現行4.3ヶ月分から4.4ヶ月分に改正

#### ▼給料表の改正

若年層を中心に平均0.3%引き上げ

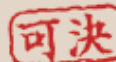
(公布の日施行)

小清水町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

常時勤務するフルタイム会計年度任用職員に対して、本年度より一般職との均衡を図るために寒冷地手当を支給するものです。

(公布の日施行)

## 令和4年度 補正予算



### ▶一般会計

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,281万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ76億8,917万4千円とするものです。

主な補正内容は次のとおりです。

補正科目	補正額	主な補正内容
議会費	357千円	一般職給料の補正 など
総務費	△35,202千円	一般職給料の補正 など
民生費	1,042千円	介護保険特別会計操出金 など
衛生費	42,603千円	原油・物価高騰対策事業 など
農林水産業費	94千円	一般職給料の補正 など
消防費	△686千円	斜里地区消防組合負担金
教育費	4,521千円	一般職給料の補正
諸支出金	10,084千円	簡易水道事業会計補助金(物価高騰対策事業)
合計	22,813千円	

### ▶介護保険特別会計

【サービス事業勘定】

歳入歳出予算の総額からそれぞれ98万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2,193万円とするものです。

### ▶簡易水道事業会計

【収益的収入及び支出】

簡易水道事業収益で営業収益を960万円減額、営業外収益を1,008万4千円を追加し、予算の総額を2億264万8千円とするものです。

簡易水道事業費用で営業費用を1万3千円追加し、予算の総額を2億77万6千円とするものです。

### ▶農業集落排水事業会計

【収益的支出】

農業集落排水事業費用で営業費用を6千円減額し、予算の総額を1億7,201万1千円とするものです。



## 第8回 町議会定例会

第8回定例会は12月13日に開会し、町長の行政報告や3議員の一般質問のほか、条例改正や各会計補正予算などを審議・可決し閉会しました。

### 条例

小清水町議会議員及び小清水町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定

関係法令の一部改正に伴い、物価の変動や選挙等の執行状況等を考慮し、選挙等の円滑な執行を図るため、「選挙運動用自動車の使用」「ピラの作成」「ポスターの作成」にかかる経費の限度額を引き上げるものとす。

(公布の日施行)

可決

### 指定管理者

小清水町防災拠点型複合庁舎

▼指定管理者

特定非営利活動法人

グラウンドワークこしみず

理事長 八木 勝正

▼指定期間

自 令和5年4月1日

至 令和8年3月31日

可決

### 人事

令和5年1月18日をもって任期が満了する監査委員の再任に同意しました。

▼代表監査委員 重成一男氏

同意

## 令和4年度 補正予算

可決

### ▶一般会計

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億152万5千円を追加し、歳入歳出の予算の総額を77億9,069万9千円とするものです。

主な補正内容は次のとおりです。

補正科目	補正額	主な補正内容
総務費	115,175千円	庁内DX推進業務委託料 など
民生費	1,433千円	介護保険特別会計操出金 など
衛生費	3,323千円	出産・子育て応援助成金 など
農林水産業費	4,495千円	農業水路等長寿命化事業工事請負費 など
土木費	△43,500千円	道営農道整備事業負担金 など
消防費	350千円	斜里地区消防組合負担金
教育費	16,249千円	光熱水費 など
公債費	4,000千円	地方債利子償還金
合計	101,525千円	

### ▶介護保険特別会計

【保健事業勘定】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,300万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ5億9,142万6千円とするものです。

### ▶簡易水道事業会計

【収益的支出】

簡易水道事業費用で営業費用を300万円、営業外費用を1千円を増額し、予算の総額を2億377万7千円とするものです。

### ▶農業集落排水事業会計

【収益的支出】

農業集落排水事業費用で営業費用を300万円を増額し、予算の総額を1億7,501万1千円とするものです。

一般質問

農業資材の高騰対策について

問①

工藤 孝一 議員



昨年から続いている肥料や飼料等の高騰対策として、本町では農家支援の補助事業を実施していますが、未だ先が見えない状況であるため、追加対策の検討が必要と考えます。

また、化学肥料の施肥量削減のため、堆肥の高品質化やペレット化に取り組み、元肥窒素に対する代替利用の仕組みづくりを早急に進めることが求められますが、所見を伺います。

答①

久保 弘志 町長



農業資材等の高騰に対する問題は、本来国策で対応すべき事案であり、その対策を国に訴えてきたことに加えて、町としても燃料等高騰対策臨時交付金を活用し、十分な対策とは考えていませんが、畑作・畜産農業者の皆さんへの支援を講じてきました。今現在、追加対策の予定はありませんが、今後必要な場合は、関係機関と協議の上対応する考えです。

元肥窒素に対する代替利用については、本年6月にプロジェクト準備会を立ち上げ、「小清水式循環型農業」を更に進化・発展させ、地域内資材を肥料の一部に代用する仕組みづくりの検討をすでに開始しています。

問②

工藤 孝一 議員

近隣では、特に畜産経営に対する配合飼料対策として独自の支援事業を実施している町がありますが、本町では実施の予定はないのでしょうか。

また、経営所得安定対策において3品目の交付単価の減額が予想され、現在の肥料高騰による影響額と合わせると畑作農家1件当たり400〜500万円程度の所得減収に繋がる試算となるため、更なる町独自の支援が必要と考えます。

また、堆肥の高品質化ペレット化の取り組みでは、近年町内に建設されている養鶏所と協力した対策を進めるべきと考えますが、再度考えをお聞きします。



答②

久保 弘志 町長

町としても、十分な対策とは考えていませんが、独自の支援事業を講じたところであります。財源にも限りはありますが、今後必要な支援の要請があれば関係機関と協議し国の動向も見ながら対応していきます。

基幹産業の農業を守るために、経営継続ができるよう支えていく必要があります。特に若い農業者が夢を持って営農できる環境を整つよう、その対策を国や道に訴えていきます。

堆肥化の関係は、例としてNKゆう水のペレット化や生ゴミの堆肥化などいくつかの可能性を探る議論が始まっています。

本町は耕畜連携が既に確立していることから町内産堆肥に余剰のない現状のため、堆肥の高品質化等についてはかかるコストや資源についてしっかりと検証し、関係機関の協力をいただきながら畑に還元する本町のありべき姿を作っていきたいと考えています。



中心市街地の再生について

問① 工藤 孝一 議員

令和5年5月供用開始となる新庁舎内には「にぎわい空間」が併設となりますが、一方で店舗数が大きく減っている市街地のにぎわいづくりについての見解を伺います。

答① 久保 弘志 町長

平成27年10月より「商業起業化支援・活性化事業」の運用により6年間で市街地では6件の新規出店、29件の空き店舗改修が行われ、新規出店への後押しが成果が現れています。

来年度以降の制度継続の要請もありますので、中心市街地の活性化を後押しできる、より活用しやすい制度となるよう、見直しや拡充の協議を重ねてまいります。

問② 工藤 孝一 議員

空き店舗と併設された住宅に生まれたい元商店の方が多いと思います。将来的には旧店舗の賃借や売買、公営住宅への転居などの意向を役場職員等が対面で調査するなど、双方の関係性を作る対応が必要であると考えますが、所見を伺います。

答② 久保 弘志 町長

空き店舗については所有者の財産という面から慎重に取り組むべき事案ではありますが、将来への意向確認は必要であると考えます。現在建設中の防災拠点型複合庁舎の次の段階として、国道の無電柱化とロードヒーティングの再整備が計画されており、時期は未定ですが、そのタイミングと合わせて一定程度コンパクトで元気なまちづくりを進める必要があると考えているため、商工会のお力添えもいただきながら市街地に元気を取り戻す議論をしたいと考えています。

「道の駅」での避難対応について

います。また、商工会と連携を深め、起業化支援を積極的に利用した新規出店を後押しする新制度と平行して進めたいと考えますのでご理解願います。

問① 更科 浩司 議員



暴風雪により国道244号線が通行止めになった際、指定緊急避難場所とされている道の駅はなやか小清水での避難対応についてお伺いします。

答① 久保 弘志 町長

道の駅はなやか小清水は暴風雪による被害を想定した「指定緊急避難場所」であり、指定管

理者との協定において、災害時の緊急体制整備等の措置を図ることとしています。

暴風雪警報等の発令が見込まれる際には指定管理者と連携し、利用者への気象情報の提供や、待機による安全確保が必要な場合には、施設内での受け入れが行えるよう発電機、毛布などの備蓄品を備えています。避難が必要な場合には除雪車両を活用した緊急対応などにより、愛ホール（指定避難所）で避難者の受け入れができるよう関係機関と連携した対応を進めます。

- ・ 指定緊急避難場所
  - 地震や洪水などから命を守るために緊急的に避難する場所
- ・ 指定避難所・避難所
  - 自宅に戻れない状況や危険がなくなるまで一定期間滞在（生活）する場所

問②

更科 浩司 議員

浜小清水住民センターでの対応をお聞きます。

答②

久保 弘志 町長

浜小清水住民センターは「避難所」に指定されていますので地域の方々のご協力をお願いしながらその対応も想定していますが、非常電源の設備に加え温泉熱で暖かさを確保できる愛ホールでの対応が望ましいと考えており、状況に応じた臨機応変な対応ができる体制を整えていきます。

農業の振興について

問①

瓜田 新一 議員



国際情勢や新型コロナウイルスにより農業経営は厳しさを増す

中、先端技術を用いたスマート農業の導入・拡大が重要と考えますが、所見を伺います。

答①

久保 弘志 町長

本町は、これまで国の各種補助金等を用いて323台のGPS自動操舵システム、2台の搾乳ロボット、4台のエサ寄せロボット、4台の工サ寄せロボット、4台の導入を支援し、先端技術導入によるスマート化を推進しています。

今後もJAこしみず等関係機関を通じて事業要望等があれば、補助事業の活用と併せて検討し、スマート農業の推進を後押ししていきます。

問②

瓜田 新一 議員

特にドローンを活用することで、農薬や肥料の適量散布が可能となり、環境保全の面からも効果が考えられます。機器導入やライセンス取得に対する支援についてお聞きます。

また、鳥獣被害や災害対策で

の活用についての考えも併せてお聞きます。

答②

久保 弘志 町長

ドローン等の活用は今後の農業の展開において欠かせないものであると考えていますので、農業者のみなさんや関係機関と意見交換を行いながら必要であれば支援などの制度設計を検討したいと考えます。

また、鳥獣被害や災害対策においても有効手段であると認識していますので、事業の展開方法を検証しながら、遅れることなく導入検討したいと考えます。

問③

瓜田 新一 議員

第10期小清水町農業振興計画を基に農業の政策がとられていると考えますが、さまざまな状況の変化に対応した計画の変更・修正は考えられますか。

答③

久保 弘志 町長

計画は、年限を持ちながらそれに基づき実行しており、大きな変化が生じたときは計画の変更を考えなければなりません。国の農業施策の動きを注視しながら、変更が必要な際には関係機関等と意見交換をしながら柔軟に対応していきたいと考えます。

質問は要約されています

議会だよりは、紙面の都合により、質問・答弁の内容を要約しています。詳細については、議会事務局へお問い合わせください。

☎62・4477（直通）



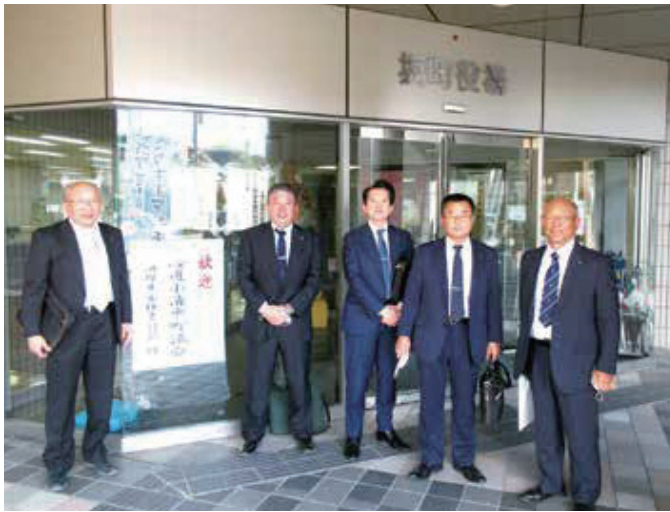
## 委員会レポート

### 経済厚生常任委員会

経済厚生常任委員会は、所管事務調査として、10月24日から10月27日までの4日間、次の2点について道外行政視察を行いました。

#### 【調査項目】

- ①空き家対策と移住・定住促進について
- ②6次産業ネットワークについて



### 「空き家対策と移住・定住促進について」

坂町では、「町への新しい人の流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」などの基本目標の施策として、空き屋問題の解消に取り組んでいました。最初に空き屋の状況と所有者が利活用と解体のどちらを望むのか意向把握のため「空き屋活用支援窓口」を設置し、不動産業者等の専門家を交え物件調査を集中的に実施、空き屋の利用希望者に対しては物件を紹介する「空き屋バンク制度」を開始、併せて改修等支援事業補助金の創設など利用しやすい環境を整備。また、移住定住対策としては三世代同居・近居住宅支援事業、子育て世代引越支援事業等による補助制度の創設と認定子ども園等が併設された公営の大規模子育て支援住宅が複数棟整備されています。

こうした結果、平成28年度から令和3年度の6年間に空き屋利活用事業により、空き屋への入居は132件（41名）、また三世代同居・近居住宅支援、子育て支援事業の合計では114世帯（421名）が利用される一方、子育て支援住宅には100世帯以上が入居されています。

総合的な事業実施により空き屋の有効活用が進み移住定住者が着実に増加していたことが分かりました。

### 広島県坂町



6次産業ネットワークについて 広島県世羅町

平成11年に農業及びその加工品の普及拡大、また観光促進を目的に設立された「世羅高原6次産業ネットワーク」は当初、農業者を中心とした32団体のスタートでしたが現在では福祉施設、農協、高校、観光農園など多彩な70を超える団体が加盟されています。

拠点施設となる「夢高原市場」は、レストラン・ワイナリーが設置され、特産加工品の販売や農業・農村体験が可能となっており、年に2度開催される大規模イベントには1万人以上が訪れています。

6次産業化の推進により、町の特産品売上や入込客数増加とU・イターンの農業者や消費者との交流、異業種連携が活発になってきています。また、花・果樹の観光農園が多数整備されることにより「町中が美しく豊かな農村公園」へと展開する新しい町づくりが進められています。

農畜産業を核として6次産業化に積極的な取り組みを行っている点について大変参考となりました。



総務文教常任委員会

総務文教常任委員会は、所管事務調査として、11月14日に委員会を開催し、次の項目について調査を行いました。

人事院勧告について

令和4年度人事院勧告の概要について担当職員より説明を受けました。

DXの推進状況について

デジタル技術やデータを活用することで業務の効率化・省力化を行い、住民サービス向上を図ることを目的に推進しているDXについて、令和5年5月の新庁舎開業に合わせ、これまでの現金納付に加え、一部の公金収受のキャッシュレス化を進めているなど、進捗状況の説明を総務課より受けました。

※DXとは

デジタル・トランスフォーメーションの略

北網ブロック 町議会議員研修会 (置戸町)

11月18日(金)、置戸町で開催された北網ブロック町議会議員研修会に参加し、置戸町食のアドバイザーである管理栄養士 佐々木十美氏による「食のまちづくりについて～生きることは食べること～」と題した講演を受講しました。





### 議会日誌

12月1日～12月31日



- 【12月】9日 議会運営委員会
- 13日 議会運営委員会  
第8回町議会定例会

### 議会日誌

1月1日～31日

- 【1月】5日 小清水消防団出初式  
新年挨拶回り
- 6日 新年挨拶回り(網走市 他)
- 9日 第1回小清水町二十歳の集い
- 11日 サツドラホールディングス株式会社と小清水町との  
地域活性化等に関する包括連携協定締結式
- 19日 経済厚生常任委員会
- 23日 小清水地区連合新春旗開き
- 27日 議会報編集特別委員会



### 次回開催予定

3月定例会 3月7日(火)～14日(火)の予定です。

詳細については、ホームページ・新聞折込にてご確認ください。

### 議会を傍聴してみませんか

事前申し込みなど面倒な手続きはありません。  
お気軽にお越しください。



### 会議録を閲覧することができます。

ホームページ及び図書館において町議会本会議の内容がすべて記載されている会議録を閲覧できます。

また、議会だよりは、ホームページでも見ることができます。

<http://www.town.koshimizu.hokkaido.jp/gikai/>

「小清水町議会」で検索できます。

### 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。



- 編集 / 議会報編集特別委員会
- 委員長 / 瓜田 新一
- 副委員長 / 木戸 寛治
- 委員 / 高橋 隆文・鬼塚 茂  
工藤 孝一・佐藤 智

議会事務局 ☎ 0152-62-4477 (直通)